

ロボット関連技術PRカード

1. 企業概要

会社名	株式会社ハイボット			代表者名	ミケレ・グアラニエリ		
				窓口担当	ミケレ・グアラニエリ		
事業内容	最先端のロボティクスの製造販売			URL	https://www.hibot.co.jp/		
主要製品	インフラ、化学プラント、発電所、航空機点検用ロボット開発						
所在地	〒141-0001 東京都品川区北品川 5-9-15						
電話/FAX 番号	03-5791-7526/—			E-mail	info@hibot.co.jp		
資本金(百万円)	95	設立年月	2004年4月	売上(百万円)	—	従業員数	28

2. PR事項

『 極限環境における ロボット技術の開発に特化 』

(1) 事業内容:

- ・AIを搭載した最先端の遠隔操作ロボットを開発し、インフラ点検作業の無人化・自動化を実現。
- ・インフラ点検データの保存・解析プラットフォームを提供し、点検作業の効率化をサポート。
- ・ロボットを活用したインフラ点検のトータルビジネスサービス”RaaS(Robot as a Service)”を展開。
RaaS: ロボットのレンタルやメンテナンス、点検データの取得から点検報告書の作成までインフラ点検作業の川上から川下までサポートを行います。

(2) ハイボットが開発するスマートツール: <https://www.hibot.co.jp/ja/products>



図1 自重補償機能搭載多関節アームロボット



図2 発電機検査ロボット

(3) 強みと特長:

- ・広瀬名誉教授の SMS(スーパーメカシステム創造開発)センター時代から多数のロボット機構の開発経験を持つ。
- ・福島第一原子力発電所の廃炉作業現場や、世界大手の化学メーカーのプラントなど、国内外問わず多数のロボット稼働実績がある。
- ・ハードウェアとソフトウェアの両方を自社開発しており、トータルソリューションの提供が可能。
- ・大手化学プラント、航空機メーカー、石油会社など、国内外問わず大手企業と取引実績有り。

(4) 今後の連携に提案:

- ・各種のロボット機構の採用に向けて開発連携
- ・機構開発力を有するものづくり企業との連携
- ・AI、VR、5G など、最先端テクノロジーと各種ロボットのプラグイン連携

3. 特記事項 (得意技術以外に PR したい事項 例: 特許情報、応用分野、表彰・認定)

- ・東工大発ベンチャー第 21 号: 東工大広瀬茂男名誉教授の研究室から生まれたベンチャー。
- ・特許取得: 多数あり。